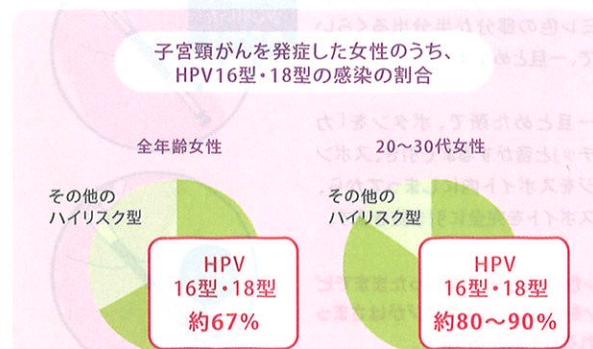


ハイリスク型HPV

「HPV検査」は採取した検査物にHPVが感染しているかどうかを調べる検査です。また、感染している場合、よりリスクの高い型(HPV16型と18型)かどうかわかります。



子宮頸がんに関係するHPVは主に14種類のハイリスク型HPVと呼ばれるウイルスですが、その中でも特にHPV16型、18型が子宮頸がんに進展する可能性が高く、進展するスピードが速いといわれています。

検査結果について

「ホームスマアセットプラス」を用いて、ご自身で採取した細胞で検査する「自己採取HPV検査」は、医療機関で採取した場合と同等の検査結果が得られています。

	HPV検出数	検出率
自己採取	39人/254人	15.4%
医師採取	36人/254人	14.2%

「HPV検査」は子宮頸がんの原因となるHPV感染の有無を調べることで、子宮頸がんのリスクを確認する検査です。HPVの感染が見つかった場合は、必ず医療機関を受診してください。

わたしは健康だからと考えていませんか？

子宮頸がんは基本的に、初期症状がないとされています。そのためがんが進行するまで気づかないというケースが多いことが特徴です。子宮頸がんを発症し、がんが多少進行しても、自覚症状はほとんどありません。

初期の子宮頸がん

まれに月経ではないときの出血や、性交渉時、あるいはその後の出血がみられることがありますが、ほとんどは無症状です。

子宮頸がんが進行

不正出血が多くなったり、おりものがピンクや褐色になったりします。そのうち、おりものに膿が混ざったり、悪臭がしたり、下腹部痛や腰痛、排尿障害や排便障害、血尿や血便などの症状が出てくる場合があります。

誰でも子宮頸がんになる可能性があります

性交渉の経験のある女性なら、誰でも子宮頸がんになる可能性があります。

最近では特に20～40歳代前半の女性に急増しており、その年代群の30人に1人(3.6%)は治療が必要となります。



一般財団法人
日本健康増進財団

子宮頸がん 予防健診のお知らせ

「自己採取HPV検査」を受けてみませんか。

子宮頸がんの有無をみるのではなく、子宮頸がんの発症リスクを把握するための予防健診です。

ご自宅にしながら検査が受けられます。

監修：一般財団法人 日本健康増進財団
恵比寿ハートビル診療所

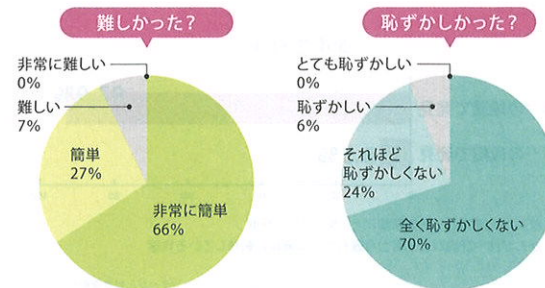


時間がない・恥ずかしいと思われる方へ

「自己採取HPV検査」は、ご自身が採取した検査物を健診機関へ郵送します。また、検査結果もご本人様に郵送されますので、医療機関へ出向く必要はありません。

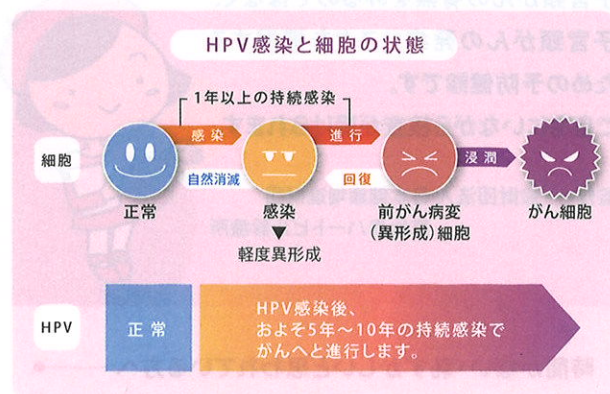
検査物の採取は簡単です

この検査では、自己採取器具を用いて検査物を採取します。自己採取器具を使用した9割以上の方が「難しい」とアンケートに回答しています。



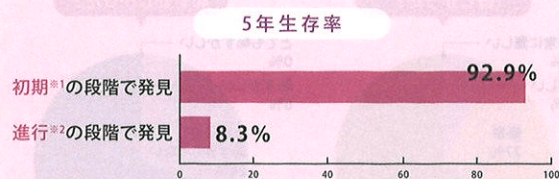
子宮頸がんはHPVの感染により 引き起こされます

子宮頸がんは、性交渉によって感染するHPV(ヒトパピローマウイルス)という、ごくありふれたウイルスが原因です。感染しても多くの人は自分の免疫力でウイルスを排除できます。ところが、約10%の人がウイルスを排除できずに感染が持続してしまい、一部の人でその細胞が変化します。この状態を「異形成(前がん病変)」といいます。異形成は平均5~10年かけて徐々に子宮頸がんに進化します。



早く見つければ決して怖くない

子宮頸がんは、がんの手前である「異形成」の段階で発見し、早期に治療することが大切です。また自覚症状がなくても定期的に検査を受け、初期の段階で感染を見つけることができれば、結果的に子宮頸がんの予防につながります。



※1：がんが上皮内から子宮頸部にとどまっている状態

※2：がんが肺や肝臓など子宮から離れた臓器に転移している状態

国立がん研究センターがん対策情報センター

ホームスミアセットプラスの使い方

タンポンと同じような使い方だから安心です。



妊娠中、または妊娠の可能性のある方は使用しないでください。



STEP 1 検査物を採取します

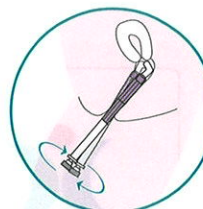
- 1 リラックスして、楽に挿入できる姿勢を選びましょう。持ち手までスポイトをゆっくりと挿入します。スミレ色の部分すべて腔内に入るように、スポイトを持った指が膣口に当たるまでゆっくり挿入してください。



- 2 ボタンを押し、ピストンの先端からスポンジを腔内に押し出します。



- 3 腔内に沿ってゆっくりと5~6回、スポイト本体をゆっくり回すようにし、細胞を採取してください。



採取する細胞の量によって、結果が大きく変わる場合がございますので、あせらずゆっくりと採取してください。

STEP 2 スポイトを引き抜きます

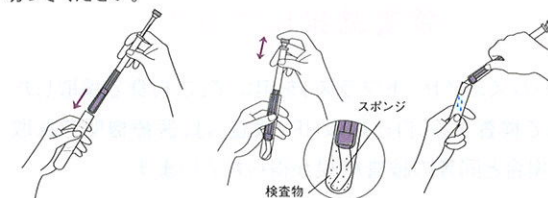
- 1 スポイトは一気に引き抜かず、スミレ色の部分が半分出るくらいで、一旦とめます。
- 2 一旦とめた所で、ボタンを「カチッ」と音がするまで引き、スポンジをスポイト内にしまってから、スポイトを完全に引き抜きます。



スミレ色の部分が全部入ったままでピストンを強く引くとスポンジがはさまって切れるおそれがあります。

STEP 3 検査物を回収します

- 1 試験管のキャップを開け、スポイトを試験管に入れてスポンジを出します。スポイトを10回程度上下させ、スポンジに付着した細胞をしっかりと洗い落としてください。最後に、試験管の縁にスポンジを押し付け、含んだ保存液をよく切ってください。



採取後は、すぐに試験管の中に検査物を洗い落としてください。

- 2 保存液が漏れないよう、しっかりとキャップを閉めてください。



- 3 試験管をチャック袋に入れ封をします。提出するまで冷蔵庫に保管しておきましょう。

*スポイトは、お住まいの自治体の指示に従って処理してください。